

新公立病院改革プランの概要

様式1

団体コード	462047
施設コード	001

団体名	枕崎市立病院								
プランの名称	新枕崎市立病院改革プラン								
策定日	平成 29 年 3 月 30 日								
対象期間	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度								
病院の現状	病院名	枕崎市立病院			現在の経営形態	公営企業法全部適用			
	所在地	鹿児島県枕崎市日之出町230							
	病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
			20	35				55	
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること		
		20		35	55				
診療科目	科目名							内科(計1科目)	
(1) 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像)	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像) ・内科を中心に、多角的に診療を行う総合診療病院としての役割を担う。 ・各医療機関の役割分担及び連携の在り方を明確化し、南薩医療圏で不足する回復期機能の充足を図る役割を担う。 ・増加が見込まれる在宅医療の需要に対応し、訪問診療や訪問看護等の充実を図るため、24時間対応訪問看護ステーションの検討を行う。 ・地域連携室を設置し、地域医療における病病・病診連携を密にするとともに、訪問看護ステーション等との地域医療連携を円滑に機能させる。 ・子育て世代のため、小児医療提供体制の確保に努める。								
	平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像								
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 生活習慣病の発症予防と重症化予防の取組を強化するため、保健・予防の中心的な役割を担う。さらに、地域連携室が中心となり各種機関と連携し、医療・介護など住民の必要とするサービスの提供に努める。								
③ 一般会計負担の考え方(繰出基準の概要) 総務副大臣からの『繰出し基準』通知に基づき、適正な負担について協議する。 ○病院事業債元利償還金の2分の1相当額 ○病院の建設改良費に要する経費の2分の1 ○企業債利子に要する経費の2分の1 ○救急医療の確保に要する経費 ○不採算地区病院の運営に要する経費 ○共済追加費用の負担に要する経費 ○医師の派遣を受けることに要する経費 ○児童手当に要する経費 ○基礎年金拠出金に係る公的負担金に要する経費									
④ 医療機能等指標に係る数値目標									
1)医療機能・医療品質に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
訪問診察(件/年)		1055	914	722	750	780	810	850	
訪問看護(件/年)		115	381	322	340	360	380	400	
2)その他		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
⑤ 住民の理解のための取組 枕崎市立病院の役割等について、十分に理解・納得していただくため、地域住民の理解を深めるような方策を検討し、丁寧に説明を行う。 地元で公立病院の現状や将来のあり方などについて関心を持っていただき、地域住民自らも地域の医療を支える一員であるとの認識の下で、病院と一緒に活動できる環境づくりに努めます。									

別記1

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標								
	1) 収支改善に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	経常収支比率(%)	99.8	103.4	93.3	93.0	96.5	98.3	100.9	
	医業収支比率(%)	97.0	92.7	78.6	80.3	82.2	84.2	87.0	
	2) 経費削減に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	給与費の対医業収益比率(%)	45.0	49.9	62.9	61.0	59.7	59.4	57.9	
	3) 収入確保に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	1日当たり入院患者数(人)	53.4	51.5	45.0	46.0	47.0	47.0	47.0	
	1日当たり外来患者数(人)	67.0	63.6	59	60	60	60	60	
	病床利用率(%)	97.1	93.7	81.8	85.5	85.5	85.5	85.5	
入院患者1人1日当たり診療収益(円)	19,613	20,576	21,775	22,496	23,241	24,010	24,805		
外来患者1人1日当たり診療収益(円)	8,952	9,477	9,424	9,769	10,126	10,497	10,881		
4) 経営の安定性に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	
上記数値目標設定の考え方	経常収支については、改革プランの対象期間末の平成32年度末における黒字化を目指す。 病床利用率については85%を目標に設定した。								
② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)									
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)	民間的経営手法の導入	平成21年4月から地方公営企業法全部適用となっており、今後も現状の経営形態を維持していく。							
	事業規模・事業形態の見直し	経営状況を俯瞰しながら、最適な病院の経営形態について検討していく。							
	経費削減・抑制対策	市場価格等の比較検討により材料購入単価見直しを実施する。							
	収入増加・確保対策	診療報酬制度に適切に対応することで、より充実した施設基準のもと、良質な医療を提供するとともに、診療単価(患者1人1日当たり診療収入)の向上に努める。							
	その他								
④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等	別紙1記載								

別記1

(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況 <input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況 南薩医療圏の病床数(2015年病床機能報告による) 高度急性期 62床 急性期 1,268床 回復期 428床 慢性期 1,091床 休棟 31床
当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>
	<内容> 具体的な取組は実施しないが、南薩医療圏内の各医療機関等との緊密な連携を図りつつ、平成30年の診療報酬改定の内容を加味したうえで、効率的かつ効果的な病棟のあり方等について検討する。
(4) 経営形態の見直し	経営形態の現況 (該当箇所)に✓を記入) <input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所)に✓を記入、検討中の場合は複数可) <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
経営形態見直し計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>
	<内容> 計画期間内では、経営形態の見直しは行わないが、経営状況を俯瞰しながら、最適な病院の経営形態について検討していく。
(5)(都道府県以外記載)新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況	
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要) 『枕崎市立病院経営評価委員会』にて点検・評価を行う。
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等) 毎年2回(5月及び10月)
	公表の方法 当院ホームページにて公表する。
その他特記事項	

(別紙1)

団体名 (病院名)	枕崎市立病院
--------------	--------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 千円、%)

年度		年度						
		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度
収	1. 医業収益 a	584,272	590,509	527,188	559,233	578,484	597,793	618,927
	(1) 料金収入	534,332	540,531	501,108	534,794	553,017	571,862	592,516
	(2) その他	49,940	49,978	26,080	24,439	25,467	25,931	26,411
	うち他会計負担金	36,294	36,294	14,646	13,005	14,033	14,497	14,977
	2. 医業外収益	35,775	88,626	118,247	107,707	121,064	120,160	118,247
	(1) 他会計負担金・補助金	5,577	52,199	80,553	67,965	76,205	76,442	75,836
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	19,790	20,550	21,648	23,300	28,417	27,276	25,969
	(4) その他	10,408	15,877	16,046	16,442	16,442	16,442	16,442
	経常収益(A)	620,047	679,135	645,435	666,940	699,548	717,953	737,174
入	1. 医業費用 b	602,165	636,882	671,052	696,127	703,898	710,368	711,288
	(1) 職員給与費 c	262,858	294,683	331,784	341,010	345,540	354,852	358,552
	(2) 材料費	45,296	50,834	54,500	54,500	54,500	54,500	54,500
	(3) 経費	233,218	229,193	223,484	240,516	239,683	239,858	240,025
	(4) 減価償却費	54,617	54,815	53,299	52,071	56,195	53,227	50,329
	(5) その他	6,176	7,357	7,985	8,030	7,980	7,931	7,882
	2. 医業外費用	19,083	19,727	20,665	21,360	20,774	20,158	19,531
	(1) 支払利息	10,968	10,725	10,466	11,161	10,575	9,959	9,332
	(2) その他	8,115	9,002	10,199	10,199	10,199	10,199	10,199
	経常費用(B)	621,248	656,609	691,717	717,487	724,672	730,526	730,819
経常損益(A)-(B)(C)	▲ 1,201	22,526	▲ 46,282	▲ 50,547	▲ 25,124	▲ 12,573	6,355	
特別損益	1. 特別利益(D)	1,021	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	15,748	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	▲ 14,727	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)	▲ 15,928	22,526	▲ 46,282	▲ 50,547	▲ 25,124	▲ 12,573	6,355	
累積欠損金(G)	2,442	▲ 20,084	26,198	76,745	101,869	114,442	108,087	
不良債務	流動資産(ア)	391,344	429,479	405,115	360,223	344,117	338,860	351,545
	流動負債(イ)	59,591	60,811	68,459	82,372	88,589	94,363	100,132
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	12,084	0	0	0	0	6,355
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額	0	0	0	0	0	0	0	
差引不良債務(オ)	▲ 331,753	▲ 356,584	▲ 336,656	▲ 277,851	▲ 255,528	▲ 244,497	▲ 245,058	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	99.8	103.4	93.3	93.0	96.5	98.3	100.9	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 56.8	▲ 60.4	▲ 63.9	▲ 49.7	▲ 44.2	▲ 40.9	▲ 39.6	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	97.0	92.7	78.6	80.3	82.2	84.2	87.0	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	45.0	49.9	62.9	61.0	59.7	59.4	57.9	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額	▲ 331,753	▲ 356,584	▲ 336,656	▲ 277,851	▲ 255,528	▲ 244,497	▲ 245,058	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 56.8	▲ 60.4	▲ 63.9	▲ 49.7	▲ 44.2	▲ 40.9	▲ 39.6	
病床利用率	97.1	93.7	81.8	85.5	85.5	85.5	85.5	

団体名 (病院名)	札幌市立病院
--------------	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	45,659	1,570	4,266	4,200	4,200	4,200	4,200
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	450	640	0	0	0	0	0
	収入計(a)	46,109	2,210	4,266	4,200	4,200	4,200	4,200
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分(c)	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c)(A)	46,109	2,210	4,266	4,200	4,200	4,200	4,200	
支 出	1. 建設改良費	50,536	6,095	7,982	22,588	21,583	21,715	21,850
	2. 企業債償還金	17,951	18,172	22,263	18,586	20,714	21,110	21,514
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0
支出計(B)	68,487	24,267	30,245	41,174	42,297	42,825	43,364	
差引不足額(B)-(A)(C)	22,378	22,057	25,979	36,974	38,097	38,625	39,164	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	22,378	22,057	25,979	36,974	38,097	38,625	39,164
	2. 利益剰余金処分量	0	0					
	3. 繰越工事資金	0	0					
	4. その他	0	0					
計(D)	22,378	22,057	25,979	36,974	38,097	38,625	39,164	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)								
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	(0) 41,871	(0) 88,493	(0) 95,199	(0) 80,970	(0) 90,238	(0) 90,939	(0) 90,813
資本的収支	45,659	1,570	4,266	4,200	4,200	4,200	4,200
合計	(22) 87,530	(0) 90,063	(0) 99,465	(0) 85,170	(0) 94,438	(0) 95,139	(0) 95,013

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。